

2023年2月24日  
(一財) 日本船舶技術研究協会

## 「船舶産業デジタルトランスフォーメーション・サプライチェーン最適化検討委員会」 成果報告セミナー開催のご案内

日本船舶技術研究協会では、国土交通省海事局船舶産業課からの受託事業として、民間事業者や関係団体とともに船舶産業におけるサプライチェーンの最適化に向けた調査事業に取り組んでいます。

本事業では、①サプライチェーン上の課題調査や課題解決に向けた方策の検討・実証に加えて、②サプライチェーンを含む高度なデータ連携・活用に関して目指すべき将来像と実現に向けた具体的な方策（アクションプランなど）について造船・舶用工業双方の関係者や学識有識者が参加する委員会（委員長 九州大学大学院 篠田 教授）で検討を行いました。

本セミナーでは、実証事業及び委員会の活動の成果を報告いたします。セミナー後半には海事産業関係者・国土交通省の皆様により、船舶産業デジタルトランスフォーメーション・サプライチェーン最適化実現に向けた今後の展望等を討論いただくパネルディスカッションも予定しております。

皆様のセミナーの参加をお待ち申し上げます。

1. 日時 2023年3月7日（火） 13:30～16:30
2. 開催方式 AP 虎ノ門 11 階 C+D ルーム（対面参加・添付案内図参照）  
及び Web 配信（オンライン参加・Zoom）
3. プログラム 別添をご参照下さい。  
※実証事業の成果報告（資料・講演動画）を 2/28 に当会 HP で公開する予定です。  
<https://www.jstra.jp/>
4. 参加費 無料（事前登録が必要です。）
5. 申込方法 下記リンクより、事前登録をお願い致します。  
<https://forms.gle/XQGUdv5fxVRgXPTbA>  
※対面参加の定員は 50 名（先着順）となります。定員に達しましたら申込を締め切らせていただきますのでオンライン参加をお願い致します。  
※参加登録受付完了時に自動的にメールが発信されます。  
※後日オンライン参加手順を記載したメールを発信致しますので、当日そちらからご参加ください。アプリをインストールすることなくブラウザからでも視聴可能です。
6. お問い合わせ先 研究開発グループ 井下（いのした）、長崎（ながさき）  
TEL:03-5575-6428、E-mail : rdu@jstra.jp

### 添付資料

- 添付資料 1 成果報告セミナー プログラム
- 添付資料 2 対面参加者用の会場案内図（AP 虎ノ門 C+D ルーム）
- 添付資料 3 船舶産業サプライチェーンの最適化に向けた調査事業の概要・委員会名簿

## 船舶産業デジタルトランスフォーメーション・サプライチェーン最適化検討委員会

## 成果報告セミナー プログラム

開催日時：2023年3月7日（火）13:30～16:30

開催方式：AP 虎ノ門 11 階 C+D ルーム（対面参加）及び Web 配信（オンライン参加・Zoom）

- 1. 主催者挨拶** ※13:30～  
(1) 国土交通省 挨拶
- 2. 成果報告** ※13:35～  
(1) 調査事業の説明（日本船舶技術研究協会） ※13:35～  
(2) 造船事業者-船用工業事業者間のサプライチェーンの最適化（実証事業） ※13:45～  
①造船-船用事業者間の船用機器・部品の商流環境の改善（日本造船工業会）  
②造船-船用事業者間の船用機器・部品に係る生産環境の改善（大島造船所）  
③造船-船用事業者間の船用機器・部品の物流環境の改善（佐川急便・三菱造船）  
(3) 複数造船事業者間におけるデータ連携（実証事業） ※14:05～  
①造船事業者間の船殻及び艀装に係る設計情報等の連携（NDES・JMU・今治造船）  
②造船事業者間の建造船舶に係る情報の連携（川崎重工業・今治造船）  
(4) 船舶産業のサプライチェーンを含む高度なデータ連携を実現するための戦略（アクセンチュア） ※14:25～  
(5) 委員会活動の総括及びDXを含めた次年度事業への期待について（篠田委員長） ※14:45～  
<休憩・会場準備 10 分> ※15:05～
- 3. 特別講演** ※15:15～  
(1) 製造業 DX に向けた視点（東京大学 青山教授） ※15:15～
- 4. 船舶産業デジタルトランスフォーメーション・サプライチェーンのパネルディスカッション** ※15:40～  
モデレータ：アクセンチュア 清水氏  
パネリスト：船舶産業デジタルトランスフォーメーション・サプライチェーン最適化検討委員会メンバー  
篠田委員長、赤島委員（日本造船工業会）、谷川委員（日本中小型造船工業会）、  
廣瀬委員（日本船用工業会）  
今井船舶産業課長（国土交通省）
- 5. 閉会** ※16:30

(注) プログラム・演題・講演者 については、都合より予告無く変更されることがあります。

(注) 2.成果報告(2)(3)の実証事業の成果報告は、当日は「概要」の報告となります。開催案内に記載しました日本船舶技術研究協会 HP で公開する成果報告（資料・講演動画）を事前にご覧ください。

## AP 虎ノ門



## 所在地・電話番号

〒105-0003

東京都港区西新橋 1-6-15

NS 虎ノ門ビル（日本酒造虎ノ門ビル）

3F、11F

Tel：03-3501-2109

Fax：03-3501-2110

- ※ JR ⇒ 新橋駅日比谷口
- ※ 銀座線 ⇒ 虎ノ門駅 9 番出口
- ※ 三田線 ⇒ 内幸町 A4a 出口
- ※ 丸の内/千代田/日比谷線  
⇒ 霞ヶ関駅 C3 出口

## 交通アクセス

＜JR 線をご利用の場合＞

「新橋駅」から徒歩 8 分

＜都営三田線をご利用の場合＞

「内幸町駅」から徒歩 3 分

＜東京メトロ銀座線をご利用の場合＞

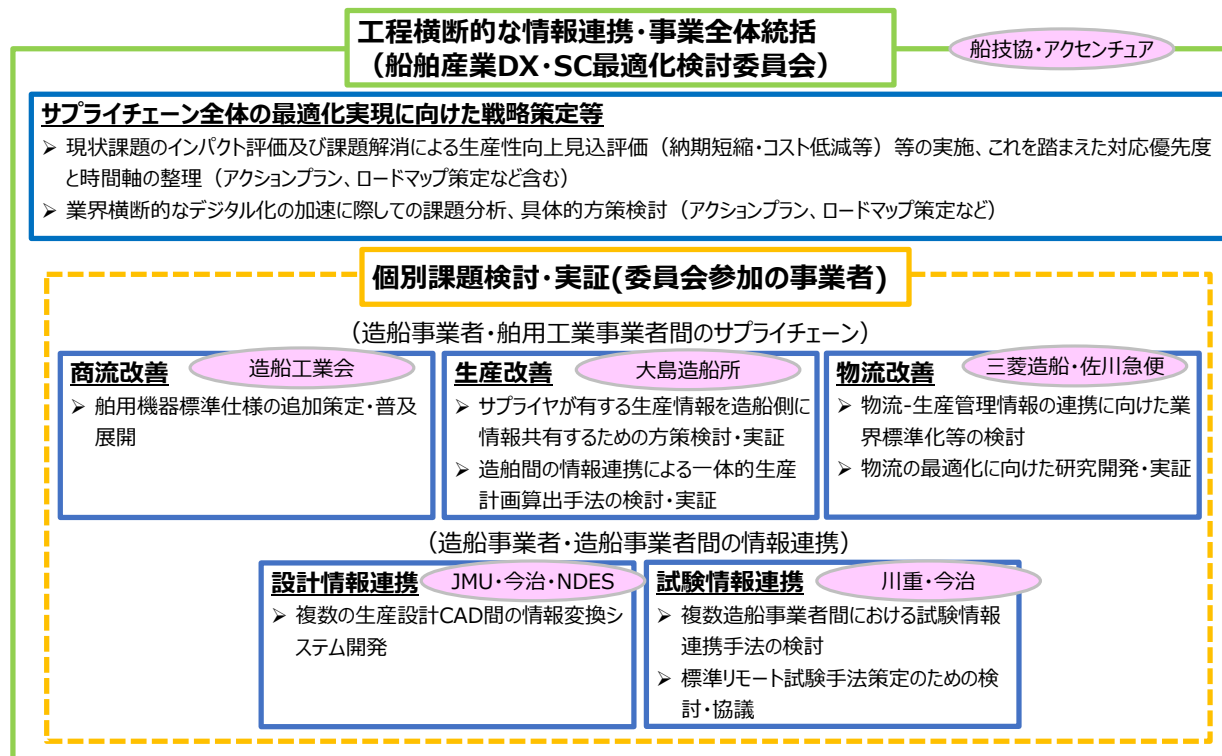
「虎ノ門駅」から徒歩 3 分

「新橋駅」から徒歩 8 分

＜東京メトロ千代田線をご利用の場合＞

「霞ヶ関駅」から徒歩 4 分

## 船舶産業サプライチェーンの最適化に向けた調査事業の概要



造船事業者・船用工業事業者間のサプライチェーンの調査	①商流の改善	一般社団法人日本造船工業会
	②生産情報の連携	株式会社大島造船所
	③物流の改善	佐川急便株式会社、三菱造船株式会社
造船事業者・造船事業者間の情報連携の調査	④設計情報の連携	今治造船株式会社、株式会社 NTT データエンジニアリングシステムズ、ジャパン マリンユナイテッド株式会社、
	⑤試験情報の連携	今治造船株式会社、川崎重工業株式会社
調査とりまとめ	⑥最適化戦略	一般財団法人日本船舶技術研究協会（調査事業代表者）、アクセンチュア株式会社

## 船舶産業 DX・SC 最適化検討委員会 名簿

委員長	篠田 岳思（国立大学法人 九州大学大学院 工学研究院 海洋システム工学部門 教授）
委員	神林 伸光（一般財団法人日本船舶技術研究協会 理事長）
	前田 明德（ジャパン マリンユナイテッド株式会社 取締役 専務執行役員）
	赤島 博（株式会社大島造船所 常務取締役 船舶営業部長）
	瀬部 充一（一般社団法人日本造船工業会 専務理事）
	谷川 文章（浅川造船株式会社 執行役員 経営戦略室長）
	岩本 泉（一般社団法人日本中小型造船工業会 専務理事）
	廣瀬 勝（ヤンマーパワーテクノロジー株式会社 取締役 特機事業部長）
	吉田 芳彦（東京計器株式会社 執行役員 船用機器システムカンパニー長）
	安藤 昇（一般社団法人日本船用工業会 専務理事）
	益川 治（株式会社備後バルブ製造所 専務取締役）
	有馬 俊朗（一般財団法人日本海事協会 常務執行役員 開発本部長）
関係官庁	国土交通省 海事局 船舶産業課